

2022年度（2回目）実践・研究発表会開催案内および演題募集

上智大学グリーフケア研究所人材養成講座は、スピリチュアルケアを土台に、さまざまな喪失によるグリーフ（悲嘆）を抱える個人や共同体に適切なケアができる人材の養成を行っており、修了生は医療・福祉・教育・宗教などの様々な分野でケア実践や研究活動を行っております。

研究所では、2015年度より「実践・研究発表会」を開催し、ケア実践、研究活動の成果について、修了生、受講生間で共有しています。今年度も昨年度と同様に、9月と3月にオンラインで開催いたします。つきましては、下記の通り、3月開催の演題募集を行います。なお、発表は全てZoomで行いますので、ご承知おきください。

なお、当発表会での発表は、日本スピリチュアルケア学会認定「専門スピリチュアルケア師」資格更新時の教育研究ポイント、上智大学グリーフケア研究所認定臨床傾聴士（以下「臨床傾聴士」）の資格更新の条件となります。¹

臨床傾聴士の資格の有効期間は、5年間です。資格更新を希望される場合は、資格の有効期間内に「実践・研究発表会」での発表を行うことができるよう、計画を立ててください。

なお、資格有効期限・更新時期については、別紙をご参照ください。

記

<開催案内>

日 時：2023年3月4日（土）※時間は発表件数により決定（前回11:30～16:30）

参 加 方 法：Zoomを利用

参加対象者：グリーフケア人材養成講座受講生、修了生、所員、教員

参 加 費：無料

<演題募集>

●応募資格：上智大学グリーフケア研究所人材養成講座修了生（左記以外の方は発表出来ません）

●内 容：医療・福祉・教育・宗教等におけるグリーフケア、スピリチュアルケア、スピリチュアリティ、死生観などに関する研究発表、活動報告、事例検討、等。

●発表時間：発表時間15分、質疑5分

●応募締切：2023年1月31日（火）23:59まで



発表希望者は、左記QRコード、もしくは下記URLより演題（案）を添えて、お申し込みください。URL：<https://forms.office.com/r/TGL8YR5WZg>

なお、演題は30字以内。サブタイトルがある場合は、25字以内を「～」で挟み記入してください。また、演題は抄録提出時までは変更可能です。

●抄録提出：2023年2月5日（日）23:59まで

メールにて、抄録とチェックリストを添付してお送り下さい。

宛先：mgriefcare-ofc@sophia.ac.jp

抄録提出後、すみやかに内容を確認し、採決を決定します。研究倫理上の問題等をチェックし、その結果、記載内容変更等をお願いする場合があります。抄録は、記入された内容がそのまま掲載されます。

※ ¹上智大学グリーフケア研究所臨床傾聴士に関する内規第5条

<https://www.sophia.ac.jp/jpn/otherprograms/griefcare/kouza/keichoushi01.html>

●抄録作成と発表準備における注意事項：以下の項目にご注意のうえ準備して下さい

実践・研究発表会は、上智大学グリーフケア研究所の、受講生及び修了生の研鑽と交流の場として設けられました。私たちの実践や研究は、他の方の人生や大切なものを扱っていますから、配慮も必要です。発表内容をよく練り上げることはいうまでもありません。

① 発表に登場する関係者が守られている（人を対象とする研究の倫理）

登場することの了承は、関係者に得られているでしょうか

関係者の個人情報や立場は守られているでしょうか（地名や日時、人物名や施設名を伏せるなど）ここで（上智大学グリーフケア研究所）で語ることが適切（語って大丈夫）でしょうか

参考例

「なお、P 氏には事前に研究目的の説明をし、書面での承諾を得てインタビューを行った。また、本抄録の事前確認を P 氏に依頼し、上智大学グリーフケア研究所の実践・研究発表会での発表することの承諾を得ている。」

「調査実施にあたっては、事前に口頭および文書にて、研究目的、データの取り扱い等の事項について十分な説明を行い、調査協力について同意を得ました。この研究は上下大学「人を対象とする研究」に関する倫理審査委員会の審査・承認を得ています（申請番号 458-566）。」

② 発表の目的や意義を伝えられている（いいたいことは、なにか）

何を伝えたいか、明確でしょうか

聴いて下さる方は、なにを得られるでしょうか

同様のことを実践・研究した先人の仕事（先行研究）を確認しましたか？

参考例

「最初に、この報告の目的について述べる。この報告は、○○の際に××が起りがちな状況について、傾聴がどのような影響を及ぼしているかについて、アンケートを通して検討するものである。」

③ よりどころが明らかになっている（盗用や剽窃を避け、仲間の参考に供する）

参考にした先行研究や引用した文章などの情報は、他の方がたどりつけるよう明記しましょう。しないと、盗用や剽窃になってしまいます。インターネットには、単純な思い込みや間違い、書き手や情報源を明らかにしない危うい情報や、人々を操作する意図を隠して流される情報にあふれています。よりどころを明らかにして、正確に、適切にお伝えしなければなりません。

参考例

参考文献

- ・石川明人『戦場の宗教、軍人の信仰』八千代出版、2013年、134ページ。
- ・JR 北日本「JR 北日本の安全対策」JR 北日本公式ホームページ、<https://www.jrn.co.jp/anzen/>、2022/10/23 参照。
- ・伊集院光吉「伊集院病院におけるグリーフケア活動の創始について」『グリーフケア』18, 2032年、231頁。

残念な例

「参考文献：ウィキペディア」

「依存症者のブログを参考にした」「ネットでは〇〇といわれている」

(参照した場所がはっきりしない。他の人が参照場所を確認できない。)

④ さまざまな仲間に伝えられる内容になっている（みんなに理解してもらう）

上智大学グリーフケア研究所には、医療・福祉・心理の専門職もいれば、一般企業の人事職、教育現場や、（さまざま）宗教の現場で活動する人もいますし、各種の自助グループの主催者も、特別な専門分野に属さない人もいます。

専門用語はよく噛み砕いて説明され、幅広い仲間が学べるものになっているでしょうか。

誤字・脱字はないでしょうか。

同期の方に読んでもらって、他人の目で見なおしてもらうことも有意義でしょう。

参考例

「調査は SWBS (Subjective Well-Being Scale、主観的幸福感尺度) を使って行った。SWBS は伊藤と相楽らが 2003 年に発表した尺度で、「人生に対する前向きの気持ち」「達成感」「自信」「至福感」「人生に対する失望感」の五領域を見る……」

残念な例

「調査はいわゆる SWBS を使って行った。」